

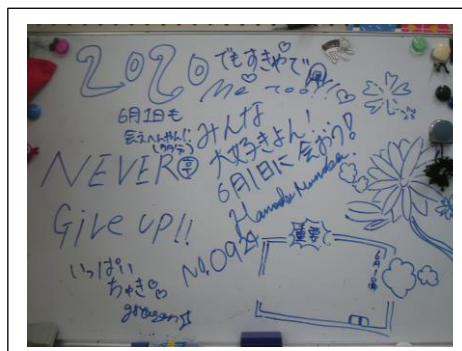
初めての経験…“初めて”は新しい価値を創造するチャンスかもしれない…

# 水無月、2020年度ようやくスタート！！

～ “夢” はあきらめない ～

2020年、本来ならば輝かしい年になるはずだった年ですが、おそらく現在に生きる人々が初めて経験する出来事で新年度が幕を開けました。新型コロナウイルス感染拡大のため、なんと、3・4・5月の3ヵ月もの臨時休校期間となりました。卒業式も簡素化され、入学式も新入生説明会となり、すぐに下校となりました。もちろん、在校生の出席もなしです。3年生最後の大会であるNHK杯も中止となりました。最初で最後の機会だったNHK杯全国高校放送コンテスト兵庫大会もなくなってしまいました。学校行事もとてもそれどころではありません。そして、ICTを活用した学習支援と初めて経験することが続きました。学校の形も変わっていくのかもしれませんが、様々な思いがあろうとも、記録に残さなければならぬ、忘れてはいけない年だと思えます。この間、放送部は卒業式・新入生説明会の運営、代替大会へ向けた自宅での可能な準備に取り組みました。できることに少しずつでも取り組むように心がけてきました。

ようやく学校再開です。6月です。部活動としても“できること”を模索しつつ活動することになるのかなと思えます。早速、NHK杯の代替大会“2020兵庫大会記念高校放送コンテスト”参加へ向け準備に取り掛かりました。特に3年生にとっては、最後の大会です。非公開での大会となりますが、これまで放送部として取り組んできたことの集大成です。2・3年生7名全員が個人部門へ参加しました。結果、アナウンス部門、朗読部門とも決勝大会進出とはなりませんでしたが、明石市内の高校からは明石高校のみ参加という状況でした。よく頑張ってくれたと思えます。



また、新入生がどれだけ参加してくれるかということも大きな不安材料でした。3年生が引退すると2年生が2名という状況になってしまいます。部活動の存続にも関わる大問題です。季節外れの新学年スタートとなり不安だらけの幕開けです。6月当初の部活見学期間中には、6/9:2名、6/17:美術科4名、9/23:2名が来てくれました。新規入部は7名、計14名での新年度スタートです。“夢”はつながりました。と同時に3年生は引退となります。ちょうどこの時、学校紹介動画のアフレコの業務が放送部に来ました。間もなくYouTubeで公開となります。3年生にとっては一つの区切りとなりました。次は、各自の進路実現に向けての取り組みです。「あの時、していれば良かった云々」とならないよう、2・1年生ともども応援しています。

そして、2・1年生9名で県総合文化祭、学校行事などの準備が始まります。ラジオ関西アナウンスフェアにもチャレンジです。それにしても、新型コロナの影響はどこまで続くのか…。例年とは異なる動きの中ですが、“できること”を模索しながら活動を続けたいと思えます。

